

## 様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 8日

大分県知事 佐藤樹一郎 殿

提出者

住 所 大分県日田市大字高瀬3898番地

氏 名 有限会社本川牧場  
代表取締役 本川和幸

電話番号 0973-22-6509

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社本川牧場〔美濃牧場〕
事業場の所在地	大分県日田市大字高瀬3898番地
計画期間	令和 5年 4月 1日 ～ 令和 6年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	01. 農業
② 事業の規模	乳用牛 3,192頭、 肉用牛 623頭
③ 従業員数	111名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・ 動物のふん尿：自ら堆肥化 詳細は、別添資料

(日本工業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- ① 会長・社長（廃棄物統括責任者）  
 牧場長（統括）  
 部長（管理・監督）

- 廃棄物処理方針の決定
- 廃棄物処理に関する各種事項の決定、

- ② 有機肥料課責任者（廃棄物実務担当者）

- 廃棄物処理計画の作成
- 行政等への各種報告

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	排 出 量	67,558.4 t	
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
② 計画	【今年度（令和5年度）目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	排 出 量	67,558.4 t	
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 該当なし
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 該当なし

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	57,703.7 t	
	(これまでに実施した取組)		
	・堆肥化		
② 計画	【今年度（令和5年度）目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	53,746.2 t	
	(今後実施する予定の取組)		
	・堆肥化		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	9,854.7 t	
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【今年度（令和5年度）目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	13,812.2 t	
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	
	(これまでに実施した取組) ・該当なし		
② 計画	【今年度（令和5年度）目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	
	(今後実施する予定の取組) ・該当なし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	全 処 理 委 託 量	t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	
	(これまでに実施した取組) 該当なし		

(第5面)

② 計画	【今年度（令和5年度）目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	全 処 理 委 託 量	t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
※事務処理欄			